



市立三次中央病院 患者支援センターだより



令和5年8月発行

新しい医師が着任しました



8月より耳鼻咽喉科医長に着任した大林敦人です。
今まで広島赤十字原爆病院、東広島医療センター、呉医療センターと勤務してまいりました。治療については地域性もあるとは思いますが、これまでの経験をいかし患者様にとって最善の医療を提供していきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願ひします。

耳鼻咽喉科医長 おおばやし あつと 大林 敦人

新スタッフ紹介



4月から患者支援室の看護師長をしています。患者支援室では、入退院支援や相談業務などを行い、患者さんに不安なく療養していただくこと、そして患者さんと地域をつなぐことが役割だと思っています。そのため、患者さんや地域の皆様としっかり対話を行い、寄り添いながら支援をしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

患者支援室長 看護師長 ながおか なほこ 永岡 奈穂子



3月31日をもって定年退職し、4月より再任用で患者支援室に配属となりました。

今までいろんな部署で経験してきたことが少しでもスタッフの皆さんや患者さんのお役に立てればと思っています。よろしくお願ひします

患者支援室 看護師 かん るみこ 関 留美子



3月より患者支援センターに配属となりました。現在4階東西病棟を担当しています。脳疾患後のリハビリ転院や施設・自宅への退院に向けて在宅サービスなど含めて調整しています。在宅で安心して生活できるよう福祉関係者の方と連携して関わっていきたく思ひます。よろしくお願ひします。

患者支援室 看護師 とよしま かおり 豊島 香織



市立三次中央病院
患者支援センター

〒728-8502 広島県三次市東酒屋町 10531 番地

TEL 0824-65-0239 (予約)

TEL 0824-48-0086 (相談、入退院支援、退院・転院調整)

※過去に発行した患者支援センターだよりは、当院ホームページにてご覧いただけます。



～ 発足の背景 ～

広島県北は日本国内でも高齢化率が高い地域です。高齢者が脆弱性骨折を生じると寝たきりの原因になり、ご本人が生活に苦慮するだけでなく家族の負担も増え、医療や介護も圧迫します。日本全体でも高齢者数は今後20年から30年は増加すると厚労省が試算しています。それ以上に若年者人口の減少は著しく、社会全体の構造を考えても寝たきりになる高齢者を減らさねばなりません。そのために整形外科としては脆弱性骨折を減らすことが命題のひとつとなります。そこで必要になってくるのが骨粗鬆症治療です。

1990年台にはまだ骨粗鬆症に関して効果の高い治療法は確立されていませんでしたが2006年に登場したアレンドロネートを皮切りに現在までに多くの有効な治療薬が開発され、骨代謝についての研究も進んできました。骨粗鬆症が治療可能な疾患になり、骨代謝マーカーやHR-pQCTなどの登場で骨粗鬆症の「見える化」が進んできました。

そしてようやく2022年度診療報酬改訂では大腿骨近位部骨折に対して新たに「二次性骨折予防継続管理料」と「緊急整復固定加算と緊急挿入加算」の二つの項目が新設され、当院でもいち早くこれに対応して体制を整えた結果、大腿骨近位部骨折の退院時骨粗鬆症治療率が2022年3月までは10～25%だったのが2022年4月以降は80～89%になり、48時間以内の緊急手術達成率は20～30%だったのが55～70%になりました。さらに当院では2022年12月からは腰椎、大腿骨など全身の評価ができる骨密度測定器を導入し、運用が始まりました（写真）。県北の基幹病院である当院が骨粗鬆症に関しても基幹病院となり、将来的には医師会の先生方とともに備北地域に骨粗鬆症診療ネットワークを構築できればと考えています。

こういった構想のもと、2023年3月末に**骨粗鬆症診療チーム**を立ち上げました。

～ 骨粗鬆症診療チームとは ～

骨粗鬆症にまつわる医療を提供するチームです。

骨粗鬆症診療は外来、入院問わず、検査や薬だけじゃなくリハビリも栄養指導も生活指導も社会支援も含まれます。特別なことや難しいことは何一つなく、医療従事者の日頃の活動がそのまま骨粗鬆症診療につながります。

まだ小さなチームですが少しずつメンバーを増やして活動を広げていく予定ですので、みなさまどうぞよろしくお願いいたします。



整形外科から ～ 骨粗鬆症外来へのご紹介をお待ちしています ～

上記背景を踏まえて、2023年4月から整形外科で**骨粗鬆症外来**をスタートさせました。

対象は骨粗鬆症患者さんです。既に骨粗鬆症と診断された方はもちろん、基礎疾患等により続発性骨粗鬆症が懸念される患者さんも含みます。骨折の既往がある高齢者はほぼ全員対象とさせていただいて良いです。

検査（骨密度、骨代謝マーカー）と投薬だけでなく、骨折の既往、家族歴、生活状況なども併せて総合的に評価し、指導していきます。

骨粗鬆症の診療についてお困りの患者さんがおられましたら是非ご紹介ください。**地域連携を通じて予約可能**です。現在治療中かどうかは問いませんし、現在の治療で良いかどうかの相談でも構いません。よろしくお願いいたします。

※なお、保険診療で行なっておりますので、検診目的の紹介は現時点では対象外となります。